

カメ好きの祭典！

「第12回日本カメ会議」 in 名古屋



2010年12月11日（土）～12日（日）。名古屋市内の「名古屋コミュニケーション・アート専門学校」を会場として、第12回日本カメ会議が開催された。全国各地（アメリカからも）から「**カメを愛する人々**」総勢約60名が名古屋の地に集結した。

我が国のカメ研究の第一人者で、本校生物部のアドバイザーでもある矢部隆教授のもと、大学の研究者を始め、東大や京大といった大学の学生や大学院生、カメを守るNPOの代表、動物園でカメの飼育や繁殖に携わる者、古文書や聖書に出てくる亀を研究する者、さらには、カメ好きなミュージシャン、スッポン猟師を父に持つカメ愛好家、ワニガメの捕獲に情熱を燃やす者、アメリカのカメ事情に詳しい陽気なアメリカ人、虐待を受けたカメに心を痛め怒りをぶつける者、病気になったカメの闘病記を報告する者など、多種多様な「カメを愛する人々」の姿があった。

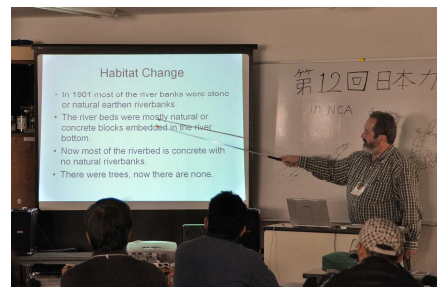
そんな中で、中学生の発表が1件、高校生では**佐野高校生物部**が発表を行った。アットホームな雰囲気の中、前途ある学生や研究者には、愛の鞭とも言える厳しい質問が容赦なく浴びせられた。佐高生もちろん例外ではない。結果として、**まだまだ愛が足りない**と実感したことが最大の収穫だったかもしれない。将来、別の立場で、このカメ会議で発表してくれる者が出てくれることを期待している。ちなみに、来年は埼玉県で開催されるそうだ。



↑ 佐高生の発表に聞き入る参加者



↑ 基調講演を行う 野呂達哉さん



↑ アメリカのカメ事情に詳しいマイケルさん